

# 議 会 だ よ り

清水町

2017年(平成29年)8月

No.150

■発行 北海道清水町議会  
 ■編集 清水町議会運営委員会  
 〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目  
 ☎62-3317 FAX62-5160

出産祝金事業の創設、子どもの医療費助成制度拡充など

## 新町政の政策事業を 含む補正予算を可決

第6回  
定例会

平成29年第6回定例会は6月22日から29日までの8日間を会期として開かれました。

町からは行政報告が2件あったほか、専決処分承認2件、条例の一部改正3件、一般会計を含む6会計の補正予算、工事請負契約の締結2件、十勝環境複合事務組合の解散に伴う規約の変更等4件、人事案件18件の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

### 定

例会初日の6月22日に一般会計補正予算(第3号)の提案があり、審議の結果、全会一致で可決しました。

今回提案された補正予算には、政策事業予算が12件(新規7件、拡充5件)含まれており、その内容については6月6日

開催の全員協議会の中で説明を受けていました。

政策事業の主なもの、お子さんの出生に祝金(支給金額の2分の1は商品券)を支給する『出産祝金支給事業』や、老人福祉センターを改修し、子どもから高齢者まで、多くの世代が誰でも利用できる集いの場を設置する『共生型集いの場設置事業』、子どもの医療費助成を18歳まで拡充する『子ども医療費無料化事業』など、子育て支援、人口減少・少子高齢化対策を柱とする内容となっています。



町民間の交流・情報交換、気軽に外出できる場の提供、地域の活性化を目的に町内の飲食店で開催する地域カフェ事業「さんさんカフェ」の様子(新規政策事業)

『町営住宅建設事業』は、

## 平成29年度 補正予算

### 一般会計

(3回目の補正)

2億326万円増

総額82億7,401万円

#### 一般会計の主な補正(政策予算以外の歳出)

- ◇循環型社会形成推進地域計画策定 135万円の増額  
業務委託料
- ◇一般廃棄物処理基本計画策定(見直し)業務委託料 389万円の増額
- ◇農地耕作条件改善事業暗渠排水等工事 9,030万円の増額
- ◇体育館窓ガラス改修工事 265万円の増額
- ◇測量調査設計委託料(災害復旧費) 550万円の増額
- ◇清水公園インフォメーションセンター解体工事(災害復旧費) 246万円の増額

御影市街地区に世帯向けの民間賃貸住宅が少ないことから、さくら野地区に世帯向けの町営住宅(3棟6戸)を建設し、ユニバーサルデザインによる幅広い年代層に対応した住宅の供給と定住者の増加を目指すとしています。

『文化センター大規模改修事業』は、老朽化による経年劣化が著しく、突発的なリスクが高まる中で施設を運営している状況にあることから、耐震改修工事や設備の更新等を行うことにより安全性と利便性を向上させることを目的としています。文化会館側入口の自動ドア設置や公民館側のエレベーター設置なども含まれています。

議員からは事業内容のほか、事業の目的や期待する効果、これまでの経過等について質疑が行われました。

政策事業の詳細については広報しみず7月号や町のホームページをご覧ください。

**公共施設遊休室及び付属施設の改修による家族葬実施策**



原 紀夫議員

本町の葬儀の実態を見ると、小規模な施設を備えた帯広市の民間専門施設や自宅等で執り行う傾向が見られ、高齢化が進むにつれ、よの増加することが予想される。

数年前の一般質問で家族葬の実施について指摘し、町内の葬儀社とも懇談し要請したが、全く改善の兆しが見られない。そこで提案として、老

人健康増進センター又は老人福祉センター内にある長年使用されていない陶芸室を家族葬が実施できる施設に改修して活用してはどうか。

阿部町長  
老人福祉センターやゲートボール場のある老人健康増進センターはいずれも国と道の補助を受けて建設したもので、補助を受けた財産の処分は鉄骨造りが50年と定められており、この期間内は定められた用途以外への処分ができないので家族葬施設への改修はできません。葬儀で一時的に使用することについても、本来の目的ではないので認められない。

今後は、家族葬を希望する方が増えると考えられることから、現在利用可能な世代間交流センター以外の町有施設（地域集会所等）について利用可能かどうか検討してきたい。



ゲートボール人口の減少により利用が少ない老人健康増進センター

原 紀夫 議員  
これまでも3回にわたって一般質問で取り上げて

きた合同納骨塚については昨年3月定例会の答弁の中で清水霊園内に存在する使用可能な納骨堂（100体収納可能）を活用するとし、収納・管理・表示・料金設定など細部にわたって説明された。それから1年以上経過するが、どのようにしているのか。

阿部町長  
昨年8月に行われた仏教会の会合後に、全道的な状況と本町のこれまでの経過を説明し、町内10

か所のお寺の現状と意見を伺った。その中で、各寺院とも宗派に関係なく、困ったことがあれば相談に乗ることであった。お墓が維持できない状況が増えているのは事実であるが、安価な納骨の方法等もあることから、まずは町内の宗教法人等へ相談することを考えていただきたい。

墓守を諸事情により町に任せるといふのであれば、必要最小限の納骨塚を町で設置・運営することが必要と考え方もあるので、これまで答弁してきた霊園内の納骨堂（残骨庫）を活用する案も含め、もう少し考える時間をいただきたい。

**まちづくり基本条例の現状**



北村光明議員

まちづくり基本条例の目的（町民、議会、行政が互いに尊重し合い、協働のまちづくりを行うために、町民参加に必要な情報を共有し、町民誰もが積極的「まちづくり」に参加できるよう）について、現状を伺う。

①政策形成過程での町民参加の機会が少ないと感じる。もっと増やすべきではないか。

# 町政を問う！ 一般質問

6月定例会では7人の議員が理事者に対し、14項目の一般質問を行いました。なお、質問と答弁は要約してあります。

## 行政報告

### 農作物の生育状況等について（6月1日現在）

3月の好天により雪解けが進み、5月上旬にはてん菜の移植、馬鈴薯等の植え付けも順調に終了した。しかし、4月中旬の強風により春まき小麦10ヘクタールに被害があり、また、5月上旬の強風により、てん菜4ヘクタールに補植や移植の作業が行われた。

デントコーンや豆類の播種作業については、平年並みから6日早いという進捗状況となっている。

主な作物の生育状況は、てん菜は3日早く活着の良否で「良」、大豆は1日から8日遅れであるが、出芽の良否で「並」、牧草は2日早く「やや良」、秋まき小麦も2日早い「やや良」となっており、4月から5月の好天により順調な生育となっている。

### 国民健康保険税の課税誤りについて

今年4月末に、課税総所得金額等の算定に誤りがあることが判明した。その主な原因は、青色申告による繰越損失額の取扱いを誤認したことによるもの。

過去3か年分について、繰越損失額のある国民健康保険加入者世帯の課税内容を確認した結果、平成27、28年度分において、国民健康保険税を過大又は過小に課税、徴収していることを確認した。

税額の再算定を行った結果、還付が41世帯で5,999,600円、追加徴収が8世帯で207,500円となり、該当世帯を訪問して謝罪し、概要を説明して、所得税修正申告書の提出等の手続きについて了承をいただいた。なお、過大に課税した税額の速やかな還付処理を進めるため、5月18日付け専決処分により所要の予算措置を行った。

今回、誤って課税をした方々に多大なご迷惑をおかけし、町民の皆様の信頼を損ねたことを深く反省するとともに、今後このようなことがないようチェック体制を強化し、適正な事務処理に努める。

### 請願の審査

件名	提出者	審査委員会	結果
地方財政の充実・強化を求める意見書に関する請願について	日本労働組合総連合会 北海道連合会 清水地区連合会	総務産業 常任委員会	採択
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書に関する請願について	同上	厚生文教 常任委員会	採択
平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の請願について	同上	総務産業 常任委員会	採択

### 条例の一部改正

- 乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正  
子育て支援政策の充実を図るため、乳幼児等医療費助成制度（保険診療の自己負担分を全額助成する制度）の対象となる子どもの年齢の上限を15歳から18歳に拡充。
- 保育所条例の一部改正  
国が定める利用者負担の上限額の基準改正により、本町の保育料の半額免除規定では国の上限額を超えることがあるため、超えないように改正。
- 幼稚園保育料等徴収条例の一部改正  
国が定める利用者負担の上限額の基準改正により、本町の幼稚園保育料の半額免除規定では国の上限額を超えることがあるため、超えないように改正。

### 工事請負契約の締結

- 災害復旧に関わる2件を可決
- 円山調整池災害復旧工事（電気設備工事）
    - ・契約金額 75,600,000円
    - ・契約の相手方 高野工業株式会社
  - 東郷愛昭和間道路災害復旧工事
    - ・契約金額 57,780,000円
    - ・契約の相手方 株式会社サカキ建設工業

### 意見書の提出

次の意見書は、第6回定例会において審議の結果、可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◆平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

②地域防災計画の見直しにあたり、委員として町民が参加できる機会をつくるべきではないか。

阿部町長

①重要な計画や政策の策定、条例の制定などには町民意見提出制度（パブリックコメント）を取り入れ、各種審議会や委員会においては委員を公募しているが、今後はよりわかりやすい情報の提供を心がけ、意見交換の場を増やすよう努力したい。

### 町内会の現状とその活性化

北村光明 議員

町内会の役割は増大し

### 国保の都道府県化の影響



木村好孝議員

- ①国保加入者の職業構成と平均所得を伺う。
- ②国保加入者の平均国保税額の推移を伺う。
- ③第2回目の国保税抜算定における、町納付金の試算内容による加入者への影響について伺う。
- ④加入者の負担軽減等のため一般会計からの繰入れを行っているが、法定外繰入について本町の今後の対応を伺う。
- ⑤医療費抑制のための病床削減がもたらす影響を。

阿部町長

①職業構成等の詳細な分析はしていないが、農家世帯が全体の2割弱で平均所得は、平成27年度が105万円程度。

保税は平成27年度が10万8169円で、過去5年間は11万円程度。  
③本町の国保税の上昇は避けられない見通しで、道は、国保税が上昇する市町村に激変緩和措置として6年間の財政措置を行い、各年度1人当たりの国保税上昇率を前年度比2%以内を抑えるよう検討を進めている。  
④保険事業費など一部認められた法定外繰入以外は、これから策定される国保運営方針に基づいて赤字が解消できるよう道と協議していきたい。

清水版「暮らしガイド」を町民に配布しては  
防災計画を見直し、平成27年10月に全戸配布した防災カイトマップの内容を変更して、本年度に全戸配布するとしているが、防災カイトマップではないが、町民の安全・安心で快適な暮らしにつながる本町の様々な制度や手続き、公共施設などの各種情報や地域情報をわかりやすく紹介し、新たに転入してきた方にも本町のことを知ってもらえるような保存版の冊子を作成して町民に配布してはかかがか。



桜井崇裕議員

阿部町長

防災カイトマップについては本年度中に改訂版を発行する予定であるが、内容については今後も随

ているにもかかわらず、高齢化問題のしかかり、運営上の困難さが増している。活性化に向け、町としての対策はあるか。

阿部町長

高齢化や核家族化の進行、社会構造や住民意識の変化などの要因は一朝一夕で解決できるものではなく、抜本的な対策はなかなか見いだせない状況。少しでも住みよい町にするために多くの力を結集し、知恵を出し合い、できるものから着実に進め、時間をかけて粘り強く取り組むことが町内会活動の活性化につながるものと考えている。

### 役場組織の機能強化

北村光明 議員

昨年の災害時とその後

多い。役場組織の機能強化については様々な改善が必要と思われるので、現状と課題について考えを伺う。

阿部町長

- ①喫緊の課題は何か。
- ②新人職員の教育の考え方は。
- ③必須研修制度と自主的研修の状況は。
- ④現存するプロジェクトチームの現状と課題は何か。

①職員の年齢構成が挙げられる。20代が4分の1を占める一方、40代と50代が6割を占め、中堅の30代が少ない。  
②地方自治に関わる基本的な知識の習得が重要。その上で、それぞれの業務に応じた研修教育を進めている。  
③必須研修として、新規採用職員及び5年目職員、5年目職員を対象に行われる研修があり、本年度からは主査職へ昇格した職員対象の広域研修も必須としている。自主研修

については、希望により参加させている。  
④担い手や雇用労働確保の問題について、関係各課にプロジェクトチームの検討・着手を指示している。  
災害復旧や防災体制の見直しについては、6課6名による災害復興プロジェクトチームを立ち上げ、対応の強化を図る準備をしているが、立ち上げたばかりなので、今のところ課題はない。

### 「コミュニティ・スクール」の推進

北村光明 議員

平成29年度の教育行政執行方針に「コミュニティ・スクールの導入を検討」とあるが、IoT（※）社会を迎えるにあたり、次の点について伺う。  
①進捗状況は。  
②ICT（※）教育に地域の人材を活用すべきではないか。

伊藤教育長  
①7月14日に初回の検討委員会を開催する予定。今後は検討委員の選任を含め準備を進める。  
②地域の方に授業に関わってもらうことは有効な教育活動の一つ。本年度設置する検討委員会においての協議やコミュニティ・スクールの検討にあたり、教員の加配もいただいていることから、教育課程への位置付けなどについても検討していきたい。

### 災害復旧の進捗状況の広報

北村光明 議員

台風10号災害の復旧作業が進んでいると思うが、その進捗状況がわかりづらい。  
国・道・町の管轄にかかわらず、被害箇所の復旧スケジュール等を町民にわかりやすくごまめに広報する必要があるのではないか。

阿部町長  
本年度に入り、国・道・町の復旧事業について発注等が順調に進んだことから、箇所ごと具体的な見通しが明らかとなり、先に発行した広報しみず6月号の中で各箇所の復旧見通しを掲載した。今後も暮らしの安全・安心のために必要な情報を適宜提示していきたい。

※用語解説

IoT (Internet of Things モノのインターネット)  
コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

ICT (Information and Communication Technology)  
日本では「情報通信技術」と訳されている。教育現場では、タブレット端末と電子黒板を用いた授業が進められ、政府は2020年までに1人1台のタブレット端末を普及させようとしている。

時見直しを行い、改訂していきたい。  
今回の発行には間に合わないが、暮らし全般に役立つガイドについては移住や定住促進にも役立つよう、町外者向けのPR紙を作成したいと考えている。

### 清水10号道路踏切の拡幅に係る取り組み



佐藤幸一議員

私の過去の一般質問における「清水10号道路踏切の拡幅」の件について、その後の取り組みと町長の考えを伺う。

危険である。JRとの話し合いはしているとのことだが、その結果は。阿部町長  
以前に簡単な見積りをした経過があり、拡幅工

### 駅の跨線橋対策は

佐藤幸一 議員

過去6年間、駅の跨線橋対策については6回質問しており、町民の要望が強く寄せられている問題である。以前、「清水・芽室間の路線バス復活も考えた」との答弁があったが、その後どのような状況になっているのか。また、阿部町長の跨線

橋対策に対する考えを伺う。  
阿部町長  
駅舎のバリアフリー化については引き続き関係機関へ要望していくが、実現は非常に厳しい状況である。  
路線バスの復活については、過去に運行していたバスの会社の試算によると、清水・芽室間を1日3往復した場合、年間1500万円の費用がかかる。

昨年、台風災害の際に、バス会社の被災地支援で無料による臨時バスの運行が行われたが、これは清水高校スクール線の回送車両を活用したもので、列車が不通だったこともあり1日平均15名弱の方が利用されていた。  
この方式による有料運行でどれほどの利用があるかは不明であるが、帯広などへの通院には有効な手立ての一つであるので、費用と効果も含め検討したい。

高齢者福祉・介護  
保険事業計画と  
福祉事業者との  
在り方



高橋政悦議員

①3年ごとに高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しが行われ、今年度は第6期計画の最終年となっている。この計画に基づき成果及び第7期に向けての方針等、考えを伺う。

②社会福祉協議会については補助金や業務委託契約等、他の福祉事業者とは行政との関わり方が異なる点を踏まえ、行政と町内福祉事業者との在り方について考えを伺う。

阿部町長 ①計画に基づく成果としては、認知症対応型共同生活介護施設の計画とおりの利用と、通所介護も含めた認知症政策（下の認知症高齢者（日常生活

自立度Ⅱb以上）と判定される方の割合が少しずつ減ってきている。

第7期に向けた方向性については、高齢者が社会・地域とつながりを持ちながら生き生きと暮らしていけるよう地域包括ケアシステムを推進し、団塊の世代が75歳になる第9期までを見据えた計画の策定を考えている。

②社会福祉協議会は営利を目的としない民間組織として社会福祉法人法に規定された地域福祉の推進を図る団体であり、各種サービス事業の実施を委託している。

他の社会福祉法人やNPO法人には高齢者短期入所事業、見守り安心事業などの業務を委託しており、いずれも福祉事業者が実施している事業との関連性を考慮して委託している。今後においてもさらに連携を密にし、協力をいたしながら町民へのサービス向上に努めていきたい。

保育所・幼稚園  
及び体育館の  
建替え



中島里司議員

①保育所・幼稚園の建替えと、子どもを主役とした政策について、「認定こども園」を含めた今後の取り組みを伺う。

②台風被害を受け、体育館の建替えは現在の場所では無理だと考えている。

別の場所に通って替える時には、宿泊施設も併せて考えるべきと考えるがいかがか。

阿部町長 ①認定こども園は御影地区と清水地区に各1か所整備したいと考えているが、清水地区は児童数がかなり多くなるので、段階的な統合や今後の児童数の推移を考慮しながら更に検討を進めていきたい。

伊藤教育長 ②体育館は建築後42年以上が経過しており、併設する農業研修会館や柔道場も老朽化が著しい。

現時点においては、体育館の建替え等について具体的な検討はしていないが、スポーツ環境の将来図を明確にし、宿泊施設も含め、関係団体や町民の意見を聞きながら検討していきたい。

災害復旧への  
対応と町づくり

中島里司 議員 ①ベケレハツ川において4橋が被害を受け、3路線が通行止めとなっているが、復旧が急がれる箇所には仮橋等を設けられないか。

②河川改修前に、上清水地区（一部）に水道河川横断管を布設しては。③ベケレの森の整備をどう考えているのか。

④国や道の災害復旧事業

①清水第3線道路については10月30日の完成に向け事務を進めている。

錦橋については、道において仮橋設置に向けた事務が進められており、橋梁本体は平成32年3月の完成を予定している。

②上清水地区は給水区域外であり変更許可が必要で、計画の策定に時間を要することから、河川改修前の施工は困難。

③清水公園の災害復旧事業で整備される管理用道路を散歩道として組み入れることが可能か、道の協議を継続し検討していきたい。ベケレの森の復旧は極めて厳しい状況であり、散歩道としての

可能性を探る協議をしていきたい。

④林道の多くは民有林の造林作業道であり、所有者が処分費用を負担することとなるが、間伐や造林等の整備計画があり、作業箇所に行きわたる作業道に被災を受けた場合であれば有効な補助制度もあることから、所有者の負担軽減が図られるよう努めていきたい。

⑤情報発信拠点については、道の駅の機能に災害時対応の要件を加えることについては丁寧な議論が必要。現状の対応策としては、町内既存の民間及び公共施設について、万が一に備えた活用を検討していきたい。



通行止めとなっている清水第3線道路

議会報告会と町民との意見交換会

たくさんの方の参加をいただきました。心から御礼申し上げます。



5月23日（火）文化センター



5月24日（水）御影公民館

アンケート集計結果

4回目の開催となる「議会報告会と町民との意見交換会」を2会場で開催し、合わせて41名の参加がありました。現在、各委員会では内容を精査し、結果の報告に向けて調査・検討をしているところです。アンケート調査は受付時に配付し、終了時に回収しました。回答者数は32名（清水地区22名、御影地区10名）です。

Q1. 性別

男性	30
女性	2
計	32

Q2. 年齢

20歳代	0
30歳代	2
40歳代	7
50歳代	4
60歳代	9
70歳以上	10
計	32

Q3. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのよう  
に知りましたか。（複数回答）

議会だより	7
広報しみずおしらせ版	7
新聞折込みチラシ	16
ホームページ	2
その他	11
計	43

Q4. 「議会報告」の内容はど  
うでしたか。

分かりやすかった	11
どちらともいえない	17
分かりにくかった	3
無回答	1
計	32

Q5. テーマを設定しての意見・提  
言等の聴取（意見交換）はどうで  
したか。

よかった	16
他のテーマのほうがよかった	1
どちらともいえない	13
よくなかった	0
無回答	2
計	32

Q6. 意見交換しやすいように、  
班編成での「議会報告会と町民  
との意見交換会」はどうでしたか。

よかった	12
どちらともいえない	16
よくなかった	0
無回答	4
計	32

Q7. 「議会報告会と町民との意見交  
換会」を評価しますか。

評価する	23
どちらともいえない	8
評価しない	1
無回答	0
計	32

Q8. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる	19
関心があるものだけ読んでいる	12
読んでいない	1
無回答	0
計	32

Q9. 清水町議会のホームページをご覧になった  
ことはありますか。

よく見ている	6
時々見ている	11
インターネットを利用しているが見た ことはない	4
インターネットを利用していないので 見たことはない	11
無回答	0
計	32

Q10. 清水町議会の本会議や委  
員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している	2
時々傍聴している	17
傍聴したことはない	13
無回答	0
計	32

Q11. 清水町議会議員に期待する  
ことは何ですか。（複数回答）

町政の監視機能	14
具体的な政策の提言	21
町民との対話	21
議会情報の発信	7
その他	2
計	65

Q12. お気づきの点、議会に対するご意見ご要望等は  
次のページへ

# 委員会 レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は第6回定例会において報告しました。

※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

## 総務産業常任委員会 調査報告

### ① 町営牧場の現状と対策について

① 町営牧場の現状と対策について  
夏期入牧を控えている町営牧場の運営状況と災害復旧対策を確認するため調査を行った。本年の入牧申込状況は例年並みであるが、昨年の台風により被害を受けて、使えないと断念した面積が150.9ヘクタールある。その分は北清水の舎飼施設でカバーするとし、餌については前年度の繰越飼料と本年度の購入飼料で対応し、収穫時までもたせたいとされているが、受入頭数は若干減らさざるを得なく、本年度の入牧頭数は2100頭を見込んでいます。今後においては計画

### ② 防災会議の取り組みについて

的に環境整備を行い、牛の質の向上を目指していくべきで、コストの低減や労働力の軽減など求められる期待は大きく、町営で維持していくのが可能化を図っていくのを議論する時期にきている。併せて農業研修の場や農場体験の場を含めた働く場の確保策など、酪農振興策の一環として牧場の位置づけを協議するような組織づくりも必要と思われる。



北清水の町営育成牧場内にある舎飼施設の一つ

### ② 防災会議の取り組みについて

昨年、台風災害を受けて、地域防災計画の見直しを行うこととなるが、その際には防災会議が開かれ審議され

## 厚生文教常任委員会 調査報告

### 高齢者世帯の現状と課題について

本町における高齢者世帯数の推移や支援事業の現状と課題、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の方向性について、調査を実施した。総人口は減少しているが高齢者世帯数は少しずつ増えてきており、担当課では高齢者世帯を行政区ごとの名簿で把握している。しかし、

実態と異なる場合もある。担当課では保健師やケアマネージャーの相談業務の際に正確な実態の把握をしているとのこと。委員からは、「高齢者の状況は隣近所でも分からないことがある。災害のことなどを踏まえると、町内会が高齢者世帯の状況を把握することが一番大事」、「町

内会内での出入りの状況が把握されていないこともある。ひとり暮らしの高齢者等が増える中、孤立化の心配などがあり、町内会との連携を密にした対応が必要」との意見があった。担当課からは、「災害時における隣近所の助け合いの必要性は認識しているが、町内会への未加入者が多くなってきたことや町内会の加入実態をすべ



保健福祉課の職員から説明を受けて調査を実施

て把握することは個人情報保護の面からも難しい問題があるので、町内会への高齢者世帯情報の提供のあり方については、町民生活課

などの関係課と相談しながら、よりよい方法を検討したい」との説明があった。地域包括ケアシステムの推進が今後の重要な柱とされ、災害時も含めて地域における互助体制づくりが重要となっていくことから、隣近所同士のコミュニケーションを高めるに当たって、高齢者世帯情報の把握のあり方は重要な課題として押さえる必要がある。

## アンケート集計結果 (前ページのつづき)

Q12.「議会報告会と町民との意見交換会」のお気づきの点、ご意見・ご要望などをお書きください。

- ① 要望などには時間を延長しても納得できる答えを出してほしい。
- ② 大変良かったと思います。頑張ってください。
- ③ 意見を述べていた方たちは、この意見交換会ではなくても話れる人だと思えます。アンケートの中に「テーマについて言いたいことは？」などを入れても良いと思います。
- ④ 議会には多くの町民から要望があると思えます。意見交換のテーマについては、多くの他の町民の意見を求めるテーマを選んでください。
- ⑤ 一部の議員が後ろでしゃべっている。話を聞いている時に邪魔になって議論が聞こえない時があった。全員前にいたほうがいい。
- ⑥ 芽室町の議員の方が中心となり、昨年の災害をレポートにした本が出されました。清水のほうがもっと書き残さなければいけないことが多いと思います。前向きにポジティブに活動していただきたいと思えます。
- ⑦ 行政とひとくくりに、つい私たちは思いますが、しかし、これは道、これは町、これは国と縦割りにして逃げることをさせず、横断型で対応策を作成しないと、いつまでも何事も解決しないと思えます。責任転嫁を互いにして、住民にプラスにならないことについては、生じさせないことが議会としても働きかけるべきですね。行政も議会も構成員の多くは「住民」でもあるわけです。公人として、私人として、住民目線や弱者の視点でものを考えないと町は良くなりません。また、政策についても「PDCA」のサイクルと、専門の知識を持った住民も含めた「知」と「住民のためになる」ことをしなければ何も変わりません。住民生活を支える大切な機能を果たすためには、常に「パブリックコメント」を受け付けるような「目安箱」的なものは必要かと思えます。コンパクトな町、様々な課題やお金の問題もあるとは思いますが、今のままでは何のカラーも特色もない町で、最後は夕張のようになることは目に見えます。様々な年代、生活状況の方が主体とならないと「まちづくり」はできません。このままだと正直明るい未来は望めません。人口流出や産業衰退しか道はありません。それを肝に銘じてもらわないと、議会も行政も話し合っている、都合のよい形で進めているという誤解を招きます。「モノ」を整えるだけの政策ではなくて、メリットのある政策ができる戦略集団で行政も議会もあるべきですね。心配なのはこういう場にしてても、議会の構成員の方の高齢化がとて思いますが、「行動」できる世代を育てないと地域は永続していかなくなります。
- ⑧ 3年目(4年目)になるかとも思いますが、進行も大分慣れてきたように感じます。一方で責任を追及するような意見が長く続くことが若干ながら気にかかります。場を変えて処理しないと時間が足りなくなります。
- ⑨ テーマを設定しないほうが良いと思えます。

## 人事

### 農業委員会委員の任命に同意

農業委員の任期満了に伴い、次期農業委員の任命に同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は提案された17名全員について任命に同意しました。

なお、農業委員に任命された方は次のとおりです。

高橋 雅典さん(上清水)	鳥羽 昌勝さん(本村)
三好 豊さん(中羽帯)	梶山 貴史さん(人舞3)
細野 輝行さん(北熊牛)	澤口 貴さん(北清水)
土井 正志さん(下佐幌平成)	氷見 隆雄さん(中美蔓2)
石田 統さん(下佐幌平和)	中村 清孝さん(元旭山)
藤谷 貴法さん(東高台)	上谷 雅俊さん(富士)
瀬田 卓芳さん(人舞共栄)	中村 勝則さん(昭和)
相根 隆雄さん(讃岐)	石井 照江さん(西文化)
木幡 宗一さん(下美蔓2)	

※法の改正により、今回から農業委員の選出方法が町長の任命制となっています。

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、新たに小竹浩之さん(柏木)を選任することについて同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



小竹浩之 氏



新体制による農業委員会総会の様子(7月20日)

## 閉会中の委員会活動

### 総務産業常任委員会

- ・産業人材の確保について
- ・農作物の生育状況について
- ・その他所管に関する事項について

### 厚生文教常任委員会

- ・広域ごみ処理の検討状況について
- ・その他所管に関する事項について

### 議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について

## 議会のうごき

5月

22日  
全員協議会  
議会運営委員会

23日・24日  
議会報告会と町民との意見交換会

30日  
議会活性化特別委員会

31日  
厚生文教常任委員会

6月

6日  
議会活性化特別委員会

6日・22日・27日  
全員協議会

8日・15日・22日・26日  
議会運営委員会

22日・26日・27日・29日  
第6回議会定例会

22日・26日  
総務産業常任委員会

22日  
厚生文教常任委員会

7月

4日  
全道町村議会議員研修会（札幌市）

6日・24日  
議会活性化特別委員会

10日  
西部十勝4町正副議長会議（新得町）

12日・13日  
静岡県清水町議会議員政務調査  
来町

20日  
中札内村議会行政視察来町

21日・31日  
議会運営委員会

26日  
厚生文教常任委員会



7月は静岡県清水町と中札内村の議会議員が来町。台風災害のあった箇所を視察されました。

開会  
9月13日  
(水曜日)

## 議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月13日に開会を予定しています。

傍聴の手続きは、受付簿に住所・氏名を記入するだけです。気軽においでください。

★9月は平成28年度決算の審議を行います。

各会計の決算内容を確認し、最終的に議会が適切と認めれば「決算認定」となります。

法律に適合しているか、計算は正しいか、予算の使われ方は適正かなどを審議するだけでなく、過去の財政状況と比較して問題点を指摘し、将来に反映させるなどの大切な役割が議会にはあります。

## 議会 TOPICS トピックス

### 北海道 町村議会議長会 議員研修会



7月4日に札幌コンベンションセンターで開催され、議員全員が出席しました。

研修では、初めに慶應義塾大学経済学部教授の金子勝氏（写真左）による「トランプ政権と日本経済 - 地域経済への影響は？」と題した講演が行われ、次に日本放送協会解説副委員長の島田敏男氏（写真右）による「日本政治の昨日・今日・明日」と題した講演が行われました。

## 編集後記

議会だより第150号をお届けします。

昨年の台風災害から1年が経過しようとしています。完全復旧にはまだ時間がかかりそうです。災害についてしっかり検証し、新たな防災計画を構築しなければなりません。

6月定例会は新町長の政策予算の審議を中心とした議会でありました。

議会は昨年に議会活性化特別委員会を立ち上げ、よりよい議会をつくるために議論しているところであります。

多くの町民の皆さまのご意見をお聞かせください。

議会運営委員会委員 桜井崇裕

清水町議会ホームページ <http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/gikai>  
清水町議会 e-mail [gikai@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.shimizu.hokkaido.jp)